ない有様である、しかも組合界は互に割據して小黨分立の狀態を示して居る。

斯くの如く我國の刻下の社會事情は我等の運動に取り實に複雜にして多難である。我等は能く此の難局に處し最善の努力を盡して運動の發達に貢獻しなければならぬ。然らば我等は此の覺悟を以て今後何を爲すべきか。

一、組合組織を合理的に改造して集中主義を徹底し

二、組合財政の充實を圖り

三、爭議基金の充實と共に罷業の統制に努め

四、勞働大衆の組織方法を地方的產業的の特殊事情に適合せしめ

五、組合の共濟的施設の充實に努め

六、勞働調査を一層完備して運動方策の合理化に資し

七、勞働法制に對し愼重なる考慮を拂ひ之れが發達に努め

八、全國的勞働組合協議會の完全に努め

九、無產政黨問題に對しては政黨組織の準備運動として先づ他の各無

財團法人協調會大阪支所